

記者発表資料

提供日：令和2年（2020年）1月6日（月）

（うみのこに関すること）

（観光大使に関すること）

所属名：びわ湖フローティングスクール

所属名：商工観光労働部

観光振興局観光政策室

担当者：丹羽

担当者：上垣

連絡先：077-524-8225

連絡先：077-528-3743

E-mail：mail@uminoko.jp

E-mail：ff0003@pref.shiga.lg.jp

滋賀ふるさと観光大使 西川 貴教さん

学習船「うみのこ」に乗船する児童へのメッセージ動画が完成！

滋賀県は、県内全ての小学5年生が学習船「うみのこ」で宿泊体験学習を行う、びわ湖フローティングスクール事業を行っています。「うみのこ」に乗船する児童には、本学習によりびわ湖の環境保全に関心を持ち、自ら行動する気持ちを持ってほしいとの思いで取り組んでいます。

その一環で、「水の未来に声をあげろ」のスローガンのもとイナズマロックフェスを主催され、これまでびわ湖の環境保全に多大な貢献をいただいている滋賀ふるさと観光大使の西川貴教さんに児童へのメッセージをお願いしたところ、快諾いただき、このたび、その動画が完成しました。

びわ湖のことを想う西川さんのメッセージは、きっと子どもたちの心に響くことでしょう。

このメッセージ動画は、令和2年1月10日の第84回児童学習航海より使用します。滋賀県の宝であるびわ湖を、県民一体となって守っていくことの大切さを広めるため、周知のご協力をお願いします。

記

1. 使用期間：令和2年最初の航海（1月10日（金）～1月11日（土））から令和3年3月末（予定）
2. 対象：フローティングスクールに乗船する児童（県内全ての小学校5年生）
3. メッセージ動画の使用方法：航海2日目の学習をまとめる「まとめの時間」に視聴
4. 動画の構成
 - (1) 西川さんの取組（イナズマロックフェスとびわ湖の環境保全）
 - (2) 児童へのメッセージ
 - ・びわ湖はみなさんの考え方や行動で変わる。
 - ・一人ひとりの力は小さくても、その力が集まれば大きな力になる。
 - ・どんなことでもかまわない。何かできることを一緒に取り組もう。

裏面もご覧ください

5. メッセージ全文

びわ湖フローティングスクール「うみのこ」に乗船している児童のみなさん、こんにちは。

滋賀ふるさと観光大使の西川貴教です。

みなさんはイナズマロックフェスに来たことはありますか？このフェスは、草津市の烏丸半島で、たくさんのアーティストが参加して開催している音楽フェスで、これまで11回開催してきました。このフェスは単なる音楽イベントではなく、「水の未来に声をあげろ」というスローガンのもと、地域振興とびわ湖の環境保全のために開催しています。

具体的にはチケット代の一部を寄付し、たくさん増えすぎた水草や外来魚を減らす取組など、びわ湖の環境を守るための活動に使ってもらっています。このフェスにたくさんの人が参加し、滋賀県やびわ湖のことを知ってもらうことが、結果的にびわ湖を守ることに繋がっていくと信じて活動しています。

今まで、たくさんの人たちがびわ湖を守る活動に取り組んでこられたおかげで、びわ湖の環境は少しずつよくなってきています。一人くらいの力でびわ湖は変わらないのではないか？と思っている人もいるかもしれません。でも、その力が集まれば、大きな力に変わります。

さあ、これからは、みなさんが今のびわ湖を未来へつないでいく番です。小さなことから、びわ湖のためにできることを考えて、行動してみませんか？

みなさんの考え方や行動で、未来のびわ湖は、みなさんが想像するより、今よりもすてきな姿に変わっていくことでしょう。

これからも滋賀のため、びわ湖のため、未来のために一緒にがんばりましょう！

6. 初回公開日の取材について

本動画を児童に初公開する日（2020年1月11日（土））は、報道機関も乗船可能です。

※運航の関係上、9時 長浜港にて乗船、14時30分頃、琵琶湖大橋港にて下船となることをご承知いただき、取材いただける場合は、1月9日（木）までに下記へご連絡ください。

びわ湖フローティングスクール 担当者：丹羽 連絡先：077-524-8225